

山添・神野山

県立自然公園の区域を中心に、神野山山頂からの自然景観のパノラマが楽しめる地区

整備のコンセプト:

ツツジの名所神野山の魅力向上

H28.6 改訂
R2.2 改訂
R4.11 改訂

◆植栽景観の現状の課題

- 神野山山頂のツツジおよび、展望台からの360度パノラマ眺望が景観の核となっている。
- 山頂周辺では、モチツツジが侵入し、ヤマツツジを被圧するとともに、モチツツジ自体の樹勢も衰えている。
- 県立自然公園東側の県道沿いでは、生長した沿道の樹木が東側の眺望を妨げている。

課題解決への主な対応

- 植物の植替や剪定等の恒常的な適正管理による景観形成
- 支障木の伐採

【今後の連携方策】 ツツジの名所復活に向けた、地域住民等との協働による維持管理の充実。

◆エリアの特徴的な景観



山頂周辺、ヤマツツジとモチツツジの群落



ヤマツツジ



モチツツジ

□鍋倉溪

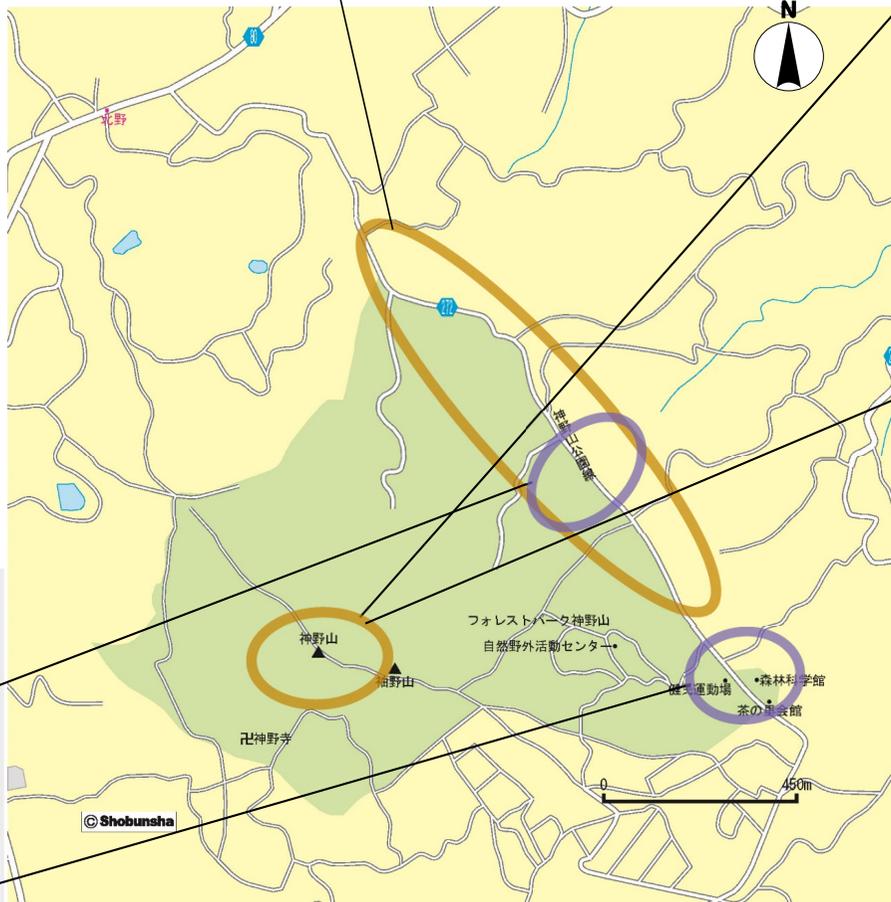
短期 秋を彩る紅葉等の植栽整備を行い、景観の魅力向上を図る

□森林科学館周辺

短期 森林科学館等へのウェルカムロードにハナモモの植栽を行い、おもてなしの演出を図る

□県道神野山公園線

短期 支障木を伐採し、眺望景観の向上を図る



□神野山山頂

短期 神野山山頂周辺のツツジや、展望台からの360度パノラマ眺望を中心とした景観を維持する

短期 モチツツジの伐採とヤマツツジの植栽を行い、景観を回復し、魅力向上を図る

長期 施肥等による維持管理を行い、眺望景観の向上と継続を図る

■かつての彩りの名所の復活

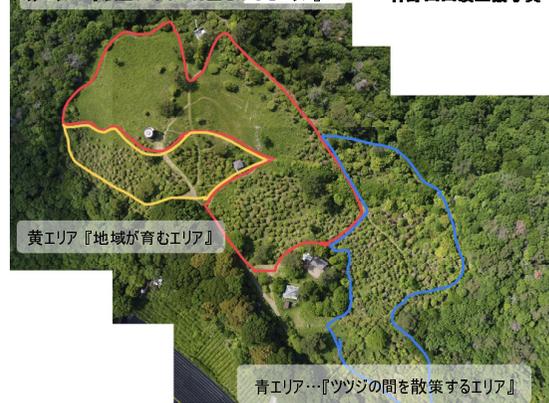
短期 雑木の伐採と火災によって被害を受けたヤマツツジの植栽を行い、展望台からの眺望景観の再興を図る

短期 雑木等を伐採し、参加型の植樹イベントを開催することで、地域で協働して景観を維持する仕組みの再構築を図る

短期 遊歩道や休憩場所の整備と彩り植栽を行い、やすらぎ空間の創出を図る

赤エリア…『展望台からの眺望を楽しむエリア』

神野山山頂全景写真



黄エリア『地域が育むエリア』

青エリア…『ツツジの間を散策するエリア』

○ 県が主体となる事業 ○ 協働事業